BlackBerry UEM

監視とレポート

管理

12.12

目次

監視とレポート.....5

ダッシュボードレポートの使用.....6
グラフの種類の変更.....6
ダッシュボードレポートの .csv ファイルへのエクスポート.....7

イベント通知の作成.....8
イベント通知のスケジュールの作成.....8
イベント通知の配布リストの作成.....8
イベント通知の作成.....9
イベント通知の無効化.....9
イベントタイプ.....10

デバイスのライセンス管理.....13
ライセンスを管理するための権限.....13
ライセンス情報を表示する.....13
ライセンスインフラストラクチャとの通信.....14
ライセンスステータス.....14
ライセンス供与されていない機能を表示.....15
期限切れの警告時期の変更.....16

デバイスレポートの表示と保存.....17

アプリ展開レポートのエクスポート.....18
.html ファイルへのアプリ展開レポートのエクスポート.....18

BlackBerry Dynamics アプリのアクティビティレポートとコンプライアンス違反レポート.....19
BlackBerry Dynamics アプリレポートの .csv ファイルへのエクスポート.....19

BlackBerry Dynamics アプリのパフォーマンスの監視.....20
BlackBerry Work または BlackBerry Connect の監視の有効化.....20
デバイスのパフォーマンスアラート通知の表示.....20
単一デバイスのパフォーマンスアラートの表示.....20

ログファイルの使用 22
BlackBerry UEM ログファイルの管理 22
グローバルログ設定の構成 22
個々の BlackBerry UEM コンポーネントのログレベルの設定 23
ユーザーごとのログを設定する 24
インスタンスログ設定の構成 24
ログファイルの最長保存期間の変更 25
オンプレミス環境でのログファイルの検索 25
BlackBerry Connectivity Node のログファイルの検索 26
ログファイルの読み取り 27
.csv ログファイルの読み取り 27
.txt ログファイルの読み取り 27
ログファイルレベル 29
トラブルシューティングでのログファイルの使用 30
BlackBerry 10 デバイスのアプリアクティビティの監査 33
デバイスでの操作の表示 34
デバイスでの操作を表示 34
デバイスログの取得 34
BlackBerry UEM コマンドによるデバイスログの取得 35
BlackBerry 10 デバイスログファイルの BlackBerry Technical Support Services への送信 36
BlackBerry UEM Client からのログファイルの送信 36
BlackBerry UEM アプリカタログからログファイルを送信 36
Android Enterprise および Samsung Knox Workspace デバイスの通話と SMS/MMS アクティビティのログ 37
オンプレミス環境での通話と SMS/MMS アクティビティのログ記録 37
BlackBerry UEM Cloud の通話と SMS/MMS アクティビティのログ記録 37
トラブルシューティング：SMS/MMS ログファイル 38

BlackBerry UEM でのイベントの監査 39
監査の設定 39
管理者監査イベントの表示とフィルター 40
管理者監査イベントの .csv ファイルへのエクスポート 41
セキュリティ監査イベントの .csv ファイルへのエクスポート 41
監査レコードの削除 41

SNMP ツールを使用した BlackBerry UEM の監視 42
サポートされる SNMP 操作 42
システム要件：SNMP 監視 43
BlackBerry UEM の MIB 43
MIB をコンパイルして SNMP 管理ツールを設定する 44
SNMP を使用したコンポーネントの監視 45
SNMP を設定してコンポーネントを監視する 45

商標などに関する情報 47

監視とレポート

BlackBerry UEM では、イベント通知の作成、ダッシュボードとユーザーリストからのレポートの生成、デバイスのライセンスの管理、BlackBerry Dynamics アプリパフォーマンスの監視を行えます。

また、ログファイル、監査ログファイル、および SNMP ツールを使用して、BlackBerry UEM のステータスを監視することもできます。

ダッシュボードレポートの使用

ダッシュボードでは、システム上のユーザーとデバイスに関する BlackBerry UEM サービスからの情報が、グラフで提示されます。カーソルをデータポイント（たとえば、円グラフの 1 つのスライス）上に重ねると、ユーザーまたはデバイスに関する情報を表示できます。

詳細な情報が必要な場合は、グラフからレポートを表示して、ユーザーまたはデバイスに関する詳細情報を表示できます。レポートの最大レコード数は、2000 です。レポートから .csv ファイルを生成して、さらなる分析や報告目的で、ファイルをエクスポートできます。

ダッシュボードの使用方法のデモを確認するには、 当社の YouTube チャネルにアクセスしてください.

ユーザーアカウントを開いて管理するために、レポート内のユーザーまたはデバイスをクリックできます。アカウントでの操作が終了したら、ページ（ブラウザーではなく）上の［戻る］をクリックしてレポートに戻ります。

次の表は、各ダッシュボードレポートが表示する情報について説明しています。

ダッシュボードレポート	説明
デバイスのローミングとローミングなし	現在ローミング状態のデバイスを携えているユーザーのリスト
デバイスのアクティベーション	12 か月間にわたり、デバイスが最初にアクティブ化された時点に基づいて、組織内でアクティブ化されているデバイス数を月ごとに動的に表示します。数値は、現在アクティブ化されているデバイスを反映して変化します。たとえば、8 月にアクティブ化されたデバイスが無効化されると、8 月に表示されるデバイス数が 1 減ります。
インストール済みの割り当てられているアプリのトップ 5	組織によって割り当てられ、デバイスにインストールされている最も一般的な 5 つのアプリ
プラットフォーム別デバイス	プラットフォーム別の組織内のデバイスのリスト
デバイスのコンプライアンス	組織内の iOS、Android、および BlackBerry 10 デバイスで検出された問題のリスト
デバイスの最終接続以降の経過時間	デバイスが最後にサーバーに接続した以降、経過した日数
通信事業者別のデバイス	組織にあるデバイスのサービスプロバイダー別リスト
トップ 5 の機種	組織内で最も一般的な 5 つのモバイルデバイスの機種

グラフの種類の変更

情報をグラフ化するために使用されるグラフの種類を変更できます。

グラフの横にある ⚙ をクリックし、ドロップダウンリストからグラフの種類を選択します。

ダッシュボードレポートの .csv ファイルへのエクスポート

1. レポートを開くには、グラフをクリックします。
2. 選択した列に基づいてレコードを並べ替えるには、列見出しをクリックします。
3. ［エクスポート］をクリックして、ファイルを保存します。

イベント通知の作成

特定の BlackBerry UEM イベントについてメールで管理者に警告するイベント通知を設定できます。イベントの例は次のとおりです。

- ユーザーアカウントが追加された
- デバイスが非準拠になった
- デバイスが無効化された
- IT ポリシーがグループに割り当てられた
- APN 証明書が有効期限から 30 日になった（オンプレミスのみ）

イベントの完全なリストについては、「イベントタイプ」を参照してください。

各イベント通知はメール配布リスト、スケジュール、およびメールテンプレートに関連付けられています。個々のメールアドレス、特定の管理者ロールを持つ受信者、または特定のグループに属する受信者を含んだ配布リストを作成できます。スケジュールは、通知が送信される曜日と時刻を定義します。メールテンプレートは、メール通知の内容を定義します。

イベント通知のスケジュールの作成

イベント通知に関連付けるスケジュールコンポーネントを設定できます。イベント通知は、スケジュールで定義されている日および時間の間に発生したイベントについてのみ送信されます。

1. メニューバーで［設定］ > ［一般設定］をクリックします。
2. ［イベント通知］をクリックします。
3. ［スケジュールコンポーネント］タブで ＋ をクリックします。
4. スケジュールの名前を入力します。
5. 通知を送信する曜日を選択します。通知は、選択した日に発生したイベントについてのみ送信されます。
6. 次のオプションのいずれかを選択します。
   - ［終日イベント］チェックボックスをオンにする：通知はいつでも送信されます。
   - ［終日イベント］チェックボックスをオフにする：通知が送信される毎日の時間を選択します。通知は、これらの時間内に発生したイベントについてのみ送信されます。
7. ［保存］をクリックします。

イベント通知の配布リストの作成

イベント通知に関連付ける配布リストを作成できます。配布リストには、ユーザーグループ、管理者ロール、および個々のメールアドレスを含めることができます。

1. メニューバーで［設定］ > ［一般設定］をクリックします。
2. ［イベント通知］をクリックします。
3. ［配布リスト］タブで ＋ をクリックします。
4. 配布リストの名前を入力します。
5. 個々のメールアドレスを含める場合は、＋ セクションにある ［メール受信者］ をクリックし、メールアドレスを入力して［保存］をクリックします。

6. グループに属する管理者を含める場合は、［使用可能なユーザーグループ］リストで 1 つ以上のグループを選択し、➡ をクリックします。
7. 特定のロールを持つ管理者を含める場合は、［使用可能なユーザーロール］リストから 1 つ以上のロールを選択し、➡ をクリックします。
8. ［追加］をクリックします。

イベント通知の作成

イベント通知を作成して、BlackBerry UEM でのイベントを管理者に通知します。

作業を始める前に：

- デフォルトのイベント通知メールを使用しない場合は、イベント通知メールテンプレートを作成します。
- イベント通知のスケジュールの作成.
- イベント通知の配布リストの作成.

1. メニューバーで［設定］ > ［一般設定］をクリックします。
2. ［イベント通知］をクリックします。
3. ［イベント通知］タブで ＋ をクリックします。
4. 1 つのイベントタイプを選択します。
5. ［次へ］をクリックします。
6. ［メール通知を送信する日時］ドロップダウンリストで、次のオプションのいずれかを選択します。
   - イベント後常時：イベントが発生した場合は、常にメール通知が送信されます。
   - リストで事前に設定されたスケジュール。
   - 新しいスケジューラを追加：スケジュールを作成し、［保存］をクリックします。
7. ［受信者］フィールドで、次のオプションのいずれかを選択します。
   - 新しい配布リストを追加：配布リストを作成し、［保存］をクリックします。
   - 事前に設定された配布リスト。
8. ［メールテンプレート］ドロップダウンリストで、イベント通知に使用するメールテンプレートを選択します。
9. ［ステータス］ドロップダウンリストで、イベント通知を有効にする場合は［オン］を、イベント通知を無効にする場合は［オフ］を選択します。
10. ［メールをプレビュー］をクリックして、イベント通知メールと受信者のメールアドレスのリストを表示します。
11. ［保存］をクリックします。

イベント通知の無効化

イベント通知を削除せずに、イベント通知を無効にすることができます。

1. メニューバーで［設定］ > ［一般設定］をクリックします。
2. ［イベント通知］をクリックします。
3. ［通知タイプ］列で、イベント通知をクリックします。
4. ［ステータス］ドロップダウンリストで［オフ］をクリックします。

5. ［保存］をクリックします。

イベントタイプ

次のイベントタイプに対して、イベント通知を作成できます。

管理者

- 管理者アカウントがロックされた

アプリ管理

- アプリがユーザーグループに追加された
- アプリがユーザーに割り当てられた
- アプリがユーザーグループから削除された
- アプリがユーザーから削除された
- アプリの定義が作成された
- アプリの定義が削除された
- アプリの定義が更新された
- アプリグループの種別が更新された
- アプリユーザーの種別が更新された
- iOS VPP アカウントが期限切れになった

BDMI 署名

- BDMI の署名に失敗した（オンプレミスのみ）

コンプライアンス

- コンプライアンスに違反した
- コンプライアンスの違反状態が解消された

接続性

- 管理者のメールの送信に失敗した
- BlackBerry Infrastructure 接続（BlackBerry UEM Core を使用）が確立された（オンプレミスのみ）
- BlackBerry Infrastructure 接続（BlackBerry UEM Core を使用）に失敗した（オンプレミスのみ）
- BlackBerry Gatekeeping Service のアクセスに失敗した
- DEP 接続が確立された
- DEP 接続に失敗した
- ディレクトリ接続の同期に失敗した

デバイス

- デバイスが削除された
- デバイスモデルが追加された
- デバイスモデルが更新された
- デバイスの所有権が変更された
- コマンドが送信された
- コマンドが配信された
- BlackBerry Gatekeeping Service を許可する
- SIM スワップ
- ユーザーデバイスの状態が変化した

登録

- DEP トークンが期限切れになった
- アクティベーションが完了した
- アクティブ化に失敗した
- 無効になった

グループ

- グループが作成された
- グループが削除された
- グループがユーザーグループに追加された
- グループがユーザーに追加された
- グループがユーザーグループから削除された
- ユーザーがグループから削除された

ポリシーとプロファイル

- ポリシーまたはプロファイルが作成された
- ポリシーまたはプロファイルが削除された
- ポリシーまたはプロファイルが送信された
- ポリシーまたはプロファイルが配信された
- ポリシーまたはプロファイルの配信に失敗した
- ポリシーまたはプロファイルがグループに割り当てられた
- ポリシーまたはプロファイルがユーザーに割り当てられた
- ポリシーまたはプロファイルの割り当てがグループから解除された
- ポリシーまたはプロファイルの割り当てがユーザーから解除された
- ポリシーまたはプロファイルの署名を保存している
- ポリシーまたはプロファイルの署名を検証している
- IT ポリシーパックが更新された
- メタデータが更新された

パフォーマンス

- デバイスのパフォーマンスアラート

ユーザー

- ユーザーが作成された
- ユーザーが削除された

Apple プッシュ通知

- APN 証明書の期限切れ（期限切れの 30 日前）

ライセンス

- ライセンスの有効期限の警告

デバイスのライセンス管理

ライセンスは、組織が BlackBerry UEM および BlackBerry UEM Cloud でアクティブ化できるデバイスの数を制御します。また、一部のライセンスでは、BlackBerry Enterprise Identity、BlackBerry 2FA、BlackBerry Dynamics アプリなどの他の BlackBerry ソフトウェアにもユーザーがアクセスできます。BlackBerry UEM 管理コンソールの［ライセンスの概要］ページで次の操作を行うことができます。

- 各ライセンスタイプのライセンス情報を確認する
- ライセンスステータスを監視して警告またはエラーを確認する
- ライセンスのコンプライアンスの問題を特定して修正する

利用可能なライセンスの詳細については、ライセンス関連の資料を参照してください。

ライセンスを管理するための権限

BlackBerry UEM でライセンスを管理するには、使用する管理者アカウントに、適切な権限を持つロールが割り当てられている必要があります。BlackBerry UEM 管理者には次の権限が必要です。

- ライセンスの概要を表示する
- ライセンス設定を編集

BlackBerry UEM Cloud 管理者に必要なのは、ライセンの概要を表示するための権限のみです。

BlackBerry UEM で事前定義済みのロールは、それぞれ異なる権限がデフォルトで有効になっています。セキュリティ管理者ロールおよびエンタープライズ管理者ロールには、ライセンス権限があります。

ライセンス情報を表示する

組織のライセンス情報は［ライセンスの概要］ページで、デバイスのライセンス情報はユーザーのデバイスの詳細で確認できます。管理コンソールには、ライセンスインフラストラクチャ内のライセンスプールの最後のスナップショットに基づいてライセンス情報が表示されます。

ユーザーまたはデバイスから機能を削除したり、デバイスを非アクティブ化したりすると、変更内容はユーザーの［デバイス］タブにすぐに表示されますが、BlackBerry UEM がライセンスインフラストラクチャ内のライセンスプールの新しいスナップショットを取得するまで、［ライセンスの概要］ページには表示されません。

［ライセンスの概要］には、組織内のすべてのオンプレミスおよびクラウドインスタンスで使用されているライセンスが表示されます。ライセンスタイプごとに、期限切れが近づくと警告が表示されます。デフォルトでは、ライセンスの期限が切れる 28 日前に警告が表示されます。ライセンスを更新すると、既存のライセンスの期限が切れた後に、新しい有効期限が［ライセンスの概要］に表示されます。

メモ：［ライセンスの概要］ページにライセンス情報が表示されない場合、ライセンスインフラストラクチャへの接続は使用できません。

1. メニューバーで［設定］>［ライセンス］をクリックします。
2. 各ライセンスタイプの次のライセンス情報を確認します。
   - 使用中の合計：使用中の ID ベースおよびサーバーのライセンス数。
   - SIM ライセンス：使用中の ID ベースのライセンス数。

- サーバーライセンス：サーバーライセンスの合計数、使用可能なライセンス数、使用中のライセンス数、およびライセンスの有効期限。

終了したら： デバイスのライセンス情報を表示するには、ユーザーアカウントの適切なデバイスタブにアクセスしてください。

ライセンスインフラストラクチャとの通信

管理コンソールで［ライセンスの概要］ページを表示した場合、ライセンス情報は、ライセンスインフラストラクチャ内の組織のライセンスプールの最後のスナップショットに基づいています。BlackBerry UEM は次のイベントについて、ライセンスインフラストラクチャに問い合わせます。

レベル	イベント	アクティビティ
ユーザー	• デバイスのアクティブ化または非アクティブ化 • 機能の追加または削除	ライセンス情報は、ユーザーに対してのみ更新されます。 変更内容は、BlackBerry UEM がライセンスインフラストラクチャ内のライセンスプールの新しいスナップショットを取得するまで、［ライセンスの概要］ページには表示されません。
組織	• 追加ライセンスの取得 • サービスのコンプライアンス違反 • スケジュールされた接続（1 日 1 回）	ライセンスプールが調整されてライセンスの使用状況が最適化され、組織のライセンス情報が更新されます。その結果、複数のユーザーおよびライセンスタイプのライセンスの使用状況が変更される場合があります。 BlackBerry UEM がライセンスインフラストラクチャ内のライセンスプールの新しいスナップショットを取得します。

［ライセンス設定］ページでは、ライセンスインフラストラクチャに最後に接続した時刻を確認できます。

ライセンスステータス

ライセンスの問題に注意が必要な場合は、管理コンソールのメニューバーに警告アイコンまたはエラーアイコンが表示されます。問題が複数存在する場合は、最も深刻な問題のアイコンが表示されます。［ライセンスの概要］ページで、ライセンスステータスを監視し、警告またはエラーを確認することができます。

メッセージ	アイコン	説明
ライセンスインフラストラクチャ	✓ OK	BlackBerry UEM は、前回ライセンスインフラストラクチャへの接続を試みたときに正常に接続できました。最後の接続時刻は［ライセンス設定］ページで確認できます。 このメッセージは BlackBerry UEM Cloud には表示されません。

メッセージ	アイコン	説明
ライセンスインフラストラクチャ - 接続できません	✕ エラー	BlackBerry UEM がライセンスインフラストラクチャに接続できませんでした。ポート 3101（TCP）を経由したアウトバウンド接続が組織のファイアウォールで許可されていることを確認します。 このメッセージは BlackBerry UEM Cloud には表示されません。
全体的なコンプライアンスステータス	✓ OK	確認が必要なライセンスの問題はありません。
猶予期間は残り *x* 日	⚠ 警告	1 つ以上のデバイスタイプ、機能、またはサービスで使用超過が発生すると、BlackBerry UEM は該当するサービスの猶予期間を開始し、ライセンスのコンプライアンス問題を解決するための時間を提供します。メッセージは、猶予期間が終了するまでの残り日数を示します。
コンプライアンス違反	✕ エラー	猶予期間が終了しても、1 つ以上のライセンスのコンプライアンス問題が存在する場合、組織は該当するサービスに関するコンプライアンス違反になります。
ライセンスの期限が間もなく切れます	⚠ 警告	試用、サブスクリプション、または期間限定ライセンスの有効期限がまもなく切れます。各ライセンスタイプの有効期限を表示できます。
試用ライセンスは *x* 日後に期限切れとなります	⚠ 警告	組織に、1 回の試用期間の試用ライセンスが含まれる場合、BlackBerry UEM は、試用期間が終了するまでの残り日数を示します。BlackBerry UEM にこのメッセージが表示されるのは、組織が試用ライセンスしか保持していない場合です。
次の試用ライセンスは *x* 日後に期限切れとなります	⚠ 警告	組織に、複数の試用期間の試用ライセンスが含まれる場合、BlackBerry UEM は、最初の試用期間が終了するまでの残り日数を示します。BlackBerry UEM にこのメッセージが表示されるのは、組織が試用ライセンスしか保持していない場合です。

ライセンス供与されていない機能を表示

ライセンス供与されてない機能は組織レベルで追跡されるため、いずれかの BlackBerry UEM ドメインまたは BlackBerry UEM Cloud テナントにログインすると、ライセンス供与されていない機能のリストを表示できます。UEM サービスが猶予期間中またはコンプライアンス違反の場合は、ライセンス供与されていない機能のリストを使用して、ライセンスのコンプライアンスの問題を特定することができます。

1. メニューバーで［設定］> ［ライセンス］をクリックします。
2. ［ライセンス供与されていない機能のリストを表示］をクリックして、次の情報を表示します。
   - アクティベーションタイプまたはライセンス供与されている機能：各行には、アクティベーションタイプ、ライセンス供与されている機能、またはその両方を含む一意の機能セットが表示されます。
   - 違反数：機能セットに関連付けられている有効なライセンスを持たないユーザーの数。

期限切れの警告時期の変更

期限切れの警告時期を変更して、BlackBerry UEM 管理コンソールにライセンスの期限がまもなく切れるという警告が表示される時期をカスタマイズできます。

1. メニューバーで［設定］ > ［ライセンス］ > ［ライセンス設定］をクリックします。
2. ［ライセンスの有効期限の警告］ドロップダウンリストで、適切な警告時期をクリックします。
3. ［保存］をクリックします。

デバイスレポートの表示と保存

デバイスレポートを生成して、BlackBerry UEM に関連付けられた各デバイスに関する詳細情報を表示できます。

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. デバイスのタブを選択します。
5. ［デバイスレポートを表示］をクリックします。
6. コンピューター上でデバイスレポートをファイルに保存するには、必要に応じて［エクスポート］をクリックします。

アプリ展開レポートのエクスポート

管理コンソールの［アプリ］画面から、BlackBerry Dynamics アプリなどのアプリ展開レポートを .html ファイルにエクスポートできます。このレポートには、BlackBerry UEM により展開されたアプリと、現在デバイスにアプリをインストールしているユーザーに関する情報が含まれます。たとえば、デバイス ID、モデル、OS バージョン、インストールステータスなど、特定のアプリを持つすべてのユーザーに関するデバイス情報を検索できます。

レポートに含めるアプリを選択できます。レポートに含めるように選択した各アプリは、アプリのバージョン情報と、アプリをインストールしている各ユーザーのデバイス情報を示した個別のセクションに記されます。

メモ： iOS デバイスのアクティベーションタイプが ユーザーのプライバシー の場合、レポートには、アプリが割り当てられているすべてのデバイスが一覧表示されます。BlackBerry UEM は、レポートの生成時にアプリがまだデバイスにインストールされているかどうかを確認できません。

今後の分析用に、Microsoft Excel を使用して .html ファイルを開くこともできます。

.html ファイルへのアプリ展開レポートのエクスポート

1. メニューバーで［アプリ］ > ［アプリ］をクリックします。
2. レポートに含めるアプリごとに、アプリの横にあるチェックボックスをオンにします。アプリリストの上部にあるチェックボックスをオンにすると、すべてのアプリを選択できます。
3. をクリックして、ファイルを保存します。

BlackBerry Dynamics アプリのアクティビティレポートとコンプライアンス違反レポート

BlackBerry UEM と BlackBerry Dynamics を統合すると、BlackBerry Dynamics アプリのアクティビティデータまたはコンプライアンス違反データを管理コンソールからエクスポートすることができます。この情報を使用して、不適切または不審なアクティビティに対処することができます。アプリアクティビティレポートには、BlackBerry Dynamics アプリごとのアプリアクティビティデータ（アプリバージョン情報、アクティベーション日付、サーバーとの最後の接続など）が記されます。コンプライアンス違反レポートには、アプリごとのコンプライアンス違反データ（違反したポリシールールや違反が発生した日時など）が記されます。

BlackBerry Dynamics アプリレポートの .csv ファイルへのエクスポート

各レポートには、5000 レコードの制限があります。

1. メニューバーで［設定］ > ［**BlackBerry Dynamics**］ > ［レポート作成］をクリックします。
2. ［データを **.csv** にエクスポート］セクションで、エクスポートするレポートの種類を選択します。
   - **BlackBerry Dynamics** アプリのアクティビティ
   - **BlackBerry Dynamics** アプリのコンプライアンス違反
3. ［エクスポート］をクリックして、ファイルを保存します。

BlackBerry Dynamics アプリのパフォーマンスの監視

BlackBerry Work および BlackBerry Connect アプリのパフォーマンスを監視し、レポートする問題を選択できます。

BlackBerry Work または BlackBerry Connect の監視の有効化

BlackBerry Work または BlackBerry Connect の監視を有効にするには、割り当てるアプリ設定を設定する必要があります。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. 監視する BlackBerry Work または BlackBerry Connect アプリをクリックします。
3. ［アプリの設定］テーブルの［BlackBerry Dynamics ］タブで、編集するアプリ設定の名前をクリックします。
4. ［パフォーマンスレポート］タブで、次のいずれかを設定します。
   - パフォーマンスレポートを有効にする： アプリのパフォーマンスを監視するかどうかを指定します。
   - **HTTP** 接続エラー： アプリと指定のアプリケーションサーバーの間で HTTP 接続エラーを報告するかどうかを指定します。
   - **HTTP** 応答時間：指定された時間よりも長い HTTP 応答を報告するかどうかを指定します。監視するアプリケーションサーバーのアドレスを入力します。
   - **HTTP** ステータスコード：指定された HTTP ステータスコードを報告するかどうかを指定します。監視するアプリケーションサーバーのアドレスを入力します。
   - レポートを送信しない期間（秒）：次のレポートを送信するまでの時間を指定します。
5. ［保存］をクリックします。

デバイスのパフォーマンスアラート通知の表示

作業を始める前に： BlackBerry Work または BlackBerry Connect の監視の有効化

1. メニューバーで、［監査とロギング］ > ［デバイスのパフォーマンス］をクリックします。
2. 日付範囲を選択し、［表示］をクリックします。
3. ［フィルター］の下で、カテゴリをクリックして展開します。
4. 適用するフィルターを選択して、［送信］をクリックします。
5. 必要に応じて、次のいずれかを実行します。
   - フィルターを削除するには、削除するフィルターの横にある ✕ をクリックします。
   - すべてのフィルターを削除するには、［すべて削除］をクリックします。
6. 結果を .csv ファイルにエクスポートするには、 をクリックします。

単一デバイスのパフォーマンスアラートの表示

日付とアラートタイプに基づいてパフォーマンスアラートのリストを表示する代わりに、過去 24 時間の単一のデバイスのパフォーマンスアラートをすべて表示することもできます。デバイスのパフォーマンスアラートがあ

る場合、デバイスタブには注意アイコンが表示され、デバイスで検出されたアラートの数を示すメッセージが表示されます。

作業を始める前に： BlackBerry Work または BlackBerry Connect の監視の有効化

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. アラートを表示する対象のデバイスのデバイスタブを選択します。パフォーマンスアラートまたはコンプライアンス違反のあるデバイスには、注意アイコンのフラグが付けられます。
5. デバイスのパフォーマンスアラートがある場合は、パフォーマンスアラートメッセージの横にある［すべてを表示］をクリックして、そのデバイスのパフォーマンスアラートのリストを表示します。

ログファイルの使用

ログファイルを使用して、組織の環境内の BlackBerry UEM コンポーネントまたはデバイスの問題を特定し、トラブルシューティングできます。BlackBerry UEM ログ機能を使用して、次のことを実行できます。

- サーバーログを使用した BlackBerry UEM コンポーネントのアクティビティの追跡
- BlackBerry UEM ログファイルデータの Syslog サーバーまたはテキストファイルへの送信
- Android および BlackBerry 10 デバイスからのログファイルの取得
- BlackBerry 10 デバイスのアプリアクティビティの監査
- Android デバイス上の通話と SMS アクティビティの監査

BlackBerry UEM ログファイルの管理

ログファイルのサイズは、BlackBerry UEM 環境のユーザーとデバイスの数や、ユーザーアクティビティのレベルによって異なります。BlackBerry UEM がオンプレミス環境にインストールされている場合は、ログファイルによって使用されているディスク容量を監視し、管理することをお勧めします。それらが過剰にディスク容量を使用するのを避けるために、ログファイルの最大ファイルサイズとデバッグレベルを指定できます。ログファイルを管理する機能は、BlackBerry UEM Cloud では使用できません。

ログ設定を次のレベルに設定できます。

- グローバルログ設定：これらの設定は、同じデータベースを共有する、組織内のすべての BlackBerry UEM インスタンスに適用されます。これらの設定には、syslog メッセージの保存先とログファイルの最大サイズが含まれます。
- ユーザーごとのログ設定：これらの設定では、トラブルシューティングのために、指定した期間、個々のユーザーアカウントのペイロードログを有効にできます。
- インスタンスのロギング設定：これらの設定は選択した BlackBerry UEM インスタンスのみに適用され、グローバル設定より優先されます。これらの設定には、ログファイルのローカルな場所のオプションおよびログファイルのロギングレベルの有効化が含まれます。

グローバルログ設定の構成

これらの設定は、BlackBerry UEM Cloud には含まれません。

1. メニューバーで、［設定］ > ［インフラストラクチャ］ > ［ロギング］をクリックします。
2. 組織の環境の必要に応じて、次のグローバル設定を構成します。

設定	手順
システムイベントを Syslog サーバーにルーティングするには	［**SysLog**］チェックボックスをオンにして、BlackBerry UEM ログイベントのルーティング先にする Syslog サーバーのホスト名とポートを指定します。
サーバーインスタンスで BlackBerry UEM コンポーネントのログファイルが保存される場所を指定できるようにするには	［ローカルのファイル保存先を有効にする］チェックボックスをオンにします。

設定	手順
トラブルシューティングのために、サーバー/デバイス間の通信に対して、高度なログ記録機能を有効にするには	［**MDM** ペイロードログ記録を有効にする］チェックボックスをオンにします。 メモ：特定のユーザーアカウントに対してのみ MDM ペイロードログを有効にすることを選択できます。詳細については、「ユーザーごとのログを設定する」を参照してください。
BlackBerry Dynamics インフラストラクチャのペイロードログ記録を有効にするには	［**CAP** ペイロードログ記録を有効にする］チェックボックスをオンにします。
デバッグログ記録を有効にせず UEM/SQL 通信のみを監査できるようにするには	［**SQL** ログ記録を有効にする］チェックボックスをオンにします。
BlackBerry UEM Core から発信された REST コールのログ記録を有効にするには	［**HTTP** ペイロードログ記録を有効にする］チェックボックスをオンにします。
BlackBerry UEM コンポーネントログファイルの最大サイズを設定するには	［最大ログファイルサイズ］フィールドで、各ログファイルが到達できる最大サイズ（MB 単位）を指定します。 ログファイルが最大サイズに達すると、BlackBerry UEM はログファイルの新しいインスタンスを開始します。
BlackBerry UEM コンポーネントログファイル用サーバーログファイルの最長保存期間を設定するには	［サーバーログファイルの最長保存期間］フィールドで、サーバーログファイルを削除するまでの最長保存日数を指定します。 値を指定しない場合、ログファイルは削除されません。
Android および BlackBerry 10 デバイスログファイルのネットワーク宛先パスを指定するには	［デバイスログのネットワーク上の場所］フィールドで、管理コンソールを使用してデバイスから取得したアクティビティログファイルを保存する UNC パスを指定します。
デバイスアプリ監査ログファイルの最大サイズ	［デバイスアプリ監査ログファイルの最大サイズ］フィールドで、デバイスのアプリ監査ログファイルが到達できる最大サイズ（MB 単位）を指定します。
デバイスアプリ監査ログファイルの最長保存期間	［デバイスアプリ監査ログファイルの最長保存期間］フィールドで、デバイスアプリ監査ログファイルを削除するまでの最長保存日数を指定します。 値を指定しない場合、ログファイルは削除されません。

3. ［保存］をクリックします。

個々の **BlackBerry UEM** コンポーネントのログレベルの設定

トラブルシューティングに役立ち、過剰なログファイルの生成がパフォーマンスに影響しないようにするために、個々の BlackBerry UEM コンポーネントが異なる情報レベルでログファイルに書き込めるようにすることが

できます。たとえば、デバッグレベルでログファイルを生成するように BlackBerry UEM Core を設定し、残りのコンポーネントにはそのまま情報レベルでログファイルを生成させることができます。

1. メニューバーで、［設定］ > ［インフラストラクチャ］ > ［ロギング］をクリックします。
2. ［グローバルログ設定］を展開します。
3. ［サービスログの上書き］セクションで ＋ をクリックします。
4. UEM コンポーネントを選択します。
5. ［ログレベル］ドロップダウンリストで、ログレベルを選択します。
6. ［保存］をクリックします。

終了したら： 必要に応じて、これらの設定を上書きできます。詳細については、「BlackBerry Connectivity Node インスタンスのデフォルト設定の変更」および「サーバーグループの作成」を参照してください。

ユーザーごとのログを設定する

トラブルシューティングに役立ち、過剰なログファイルの生成がパフォーマンスに影響しないようにするために、特定のユーザーアカウントの MDM ペイロードログを有効にできます。

メモ： すべてのユーザーに対して MDM ペイロードログを有効にする方法については、「グローバルログ設定の構成」を参照してください。

1. メニューバーで、［設定］ > ［インフラストラクチャ］ > ［ロギング］をクリックします。
2. ［ユーザーごとのログ］を展開します。
3. **[**ユーザーを追加**]**検索フィールドで、ログを有効にするユーザーアカウントを検索します。
   最大 16 人のユーザーを追加できます。
4. ［有効期限］ドロップダウンリストで、そのユーザーのログを有効にする時間の長さを選択します。
5. ［保存］をクリックします。

インスタンスログ設定の構成

1. メニューバーで、［設定］ > ［インフラストラクチャ］ > ［ロギング］をクリックします。
2. 設定するサーバーインスタンスを展開します。
3. 組織の環境の必要に応じて、次の設定を構成します。

設定	手順
BlackBerry UEM コンポーネントのログファイルが保存される場所を指定するには	［サーバーログパス］フィールドに、サーバーログファイルを保存する場所のパスを入力します。デフォルトでは、ログファイルは `C:\Program Files\BlackBerry\UEM\Logs\`*`yyyymmdd`* に保存されます。 メモ： この設定を変更する前に、グローバルログ設定の［ローカルのファイル保存先を有効にする］チェックボックスをオンにする必要があります。

設定	手順
ログファイルに含める詳細レベルを設定するには	［ログのデバッグレベル］ドロップダウンリストで、次のいずれかを選択します。 • ［情報］：ログファイルに日常のアクティビティ、警告、およびエラーメッセージを書き込みます。 • ［警告］：ログファイルに警告とエラーメッセージを書き込みます。警告メッセージは、対応が必要になる可能性がある予期しないイベントです。 • ［エラー］：ログファイルにすべてのエラーメッセージを書き込みます。エラー状態が発生した場合、通常は対応が必要になります。 • ［デバッグ］：問題のデバッグに必要な情報のみを書き込みます。 デフォルトでは、デバッグレベルは［情報］に設定されています。
Android および BlackBerry 10 デバイスのアプリ監査ログファイルのフォルダーを指定するには	［デバイスアプリ監査ログパス］フィールドに、デバイスのアプリ監査ログファイルを保存する場所のパスを入力します。
デバイスのアプリ監査ログファイルの最大サイズを設定するには	［最大アプリ監査ログサイズ］フィールドに、デバイスのアプリ監査ログファイルの最大サイズ（MB 単位）を指定します。 ログファイルが最大サイズに達すると、BlackBerry UEM はログファイルの新しいインスタンスを開始します。

4. ［保存］をクリックします。

ログファイルの最長保存期間の変更

1. メニューバーで、［設定］ > ［インフラストラクチャ］ > ［ロギング］をクリックします。
2. ［グローバルログ設定］を展開します。
3. サーバーログファイルの最長保存期間を日数で設定します。
4. ［保存］をクリックします。

オンプレミス環境でのログファイルの検索

デフォルトでは、オンプレミスの BlackBerry UEM コンポーネントごとにサーバーのログファイルが作成され、コンポーネントがインストールされているコンピューターに毎日保存されます。複数の BlackBerry UEM インスタンスがインストールされている場合は、各コンピューターがそれぞれ専用のログファイルを作成します。BlackBerry UEM は、<サーバー名>_<コンポーネント *ID*>_<*yyyymmdd*>_<ログ番号>.<ファイル拡張子>（例：BBServer01_MDAT_20140730_0001.txt）の形式で、ログファイルに名前を付けます。

次のログファイルは、オンプレミス BlackBerry UEM ソリューションで使用可能です。

- BlackBerry 10、iOS、Android、および Windows デバイスの管理に使用されるコンポーネントのログファイル。

ログファイル：

- ACCS - BlackBerry UEM Core の Tomcat アクセスログファイル
- AFMGR - BlackBerry Affinity Manager ログファイル
- BGS - BlackBerry Gatekeeping Service ログファイル
- BP - BlackBerry Proxy サービスログファイル
- BSG - BlackBerry Secure Gateway ログファイル
- CORE - BlackBerry UEM Core ログファイル
- DISP - BlackBerry Dispatcher ログファイル
- EVNT - BlackBerry UEM Core イベントログファイル
- MDAT - BlackBerry MDS Connection Service ログファイル
- ACCS - BlackBerry UEM Core の Tomcat サーバーログファイル
- UI - BlackBerry UEM 管理コンソールログファイル
- <サーバーの FQDN>_yyyymmdd.csv<コンピューターの *FQDN*>_yyyymmdd.csv ファイル（BlackBerry UEM の BlackBerry MDS Connection Service をログに記録するために使用）

  メモ： BlackBerry MDS Connection Service .csv ログファイルの詳細については、support.blackberry.com/community にアクセスして、記事 36936 を参照してください。

BlackBerry UEM の初回インストール時に、追加のログファイルが作成されます。

デフォルトでは、これらのログファイルは <ドライブ>:`\Program Files\BlackBerry\UEM\Logs\`<日付またはフォルダー名> に保存されます。

- BlackBerry Secure Connect Plus に使用されるログファイルは、以下になります。
  - BSCP - BlackBerry Secure Connect Plus アプリとの接続に関するデータを記録する BlackBerry Secure Connect Plus ログファイル
  - BSCP-TS - BlackBerry Secure Connect Plus コンポーネントに関するデータを記録する BlackBerry Secure Connect Plus コアログファイル
- BBM ログ、電話ログ、 PIN to PIN ログ、SMS/MMS ログ、およびビデオチャットログは、.csv 形式で保存され、アプリアクティビティの監査に使用されます。

  デフォルトでは、BlackBerry 10 および Android デバイスのアプリ監査ログファイルは、*C:\Program Files\BlackBerry\UEM\Logs* に保存されます。

BlackBerry Connectivity Node のログファイルの検索

デフォルトでは、BlackBerry Connectivity Node ごとに複数のログファイルが作成され、BlackBerry Connectivity Node がインストールされているコンピューターに毎日保存されます。

次のログファイルは、BlackBerry Connectivity Node で使用可能です。

- BlackBerry 10、iOS、Android、および Windows デバイスの管理に使用されるコンポーネントのログファイル。

  ログファイル：

  - BCC - BlackBerry Cloud Connector ログファイル
  - BCC-ACCS - BlackBerry Connectivity Node の Tomcat アクセスログファイル
  - BCC-TMCT - BlackBerry Connectivity Node の Tomcat サーバーログファイル
  - BGS - BlackBerry Gatekeeping Service ログファイル

- BP - BlackBerry Proxy サービスログファイル
- BSG - BlackBerry Secure Gateway ログファイル

デフォルトでは、これらのログファイルは <ドライブ>:\Program Files\BlackBerry Connectivity Node\Logs\<日付またはフォルダー名> に保存されます。

- BlackBerry Secure Connect Plus に使用されるログファイルは、以下になります。
  - BSCP - BlackBerry Secure Connect Plus アプリとの接続に関するデータを記録する BlackBerry Secure Connect Plus ログファイル
  - BSCP-TS - BlackBerry Secure Connect Plus コンポーネントに関するデータを記録する BlackBerry Secure Connect Plus コアログファイル

ログファイルの読み取り

BlackBerry UEM ログファイルは、カンマ区切り値ファイルとテキストファイルの 2 とおりの形式で保存されます。

BlackBerry Messenger 連絡先とメッセージ、通話、PIN、SMS、およびビデオチャットログは CSV 形式で保存されます。

他のすべてのログファイルは TXT 形式で保存されます。

.csv ログファイルの読み取り

カンマ区切りログファイルには、情報の記録対象のコンポーネント、デバイス、またはデバイスアプリに応じて異なる情報が含まれます。.csv 形式のログファイルの例としては、BBM や通話ログなどのデバイスアプリ監査ファイルがあります。

ログの各行にはシンプルで一貫した方法で情報が示されているため、.csv ログファイルに含まれる情報を識別できます。たとえば、SMS ログファイルの各行は、次の形式で情報を示します。

```
Name.ID,"メールアドレス","メッセージの種類","To","From","コールバック用の電話番号","本文","送信/受信日","サーバーログ日付","総合的なメッセージステータス","コマンド","UID"
```

通話ログファイルの各行は、次の形式で表されます。

```
Name.ID,"コールの種類","名前","電話番号","開始日","サーバーログ日付","経過時間","メモ","コマンド","UID","電話回線"
```

.txt ログファイルの読み取り

.txt ファイルとして保存されるログファイルには、2 つの基本形式があります。

- 最初の形式は最も一般的で、通常は日時で始まり、次の方法で情報を提供します。

```
DateTime Appname ProcessID LoggingFeature LoggingComponent StructuredData
 LogLevel Message
```

例：

```
2019-04-23T13:16:56.883+0100 - CORE {wff-thread-37} none|none [{{Correlation-
Id,b417051d-13c3-4a29-95f2-512c48b2b018}{Method,POST}{Uri,/tomcat/startup}
{host,computer.example.com}}] - INFO Discrete snapin load finished
```

- 2 つ目の形式は、数値レベルインジケーターで始まり、次の方法で情報を提供します。

```
Level Date Thread CID Message
```

例：

```
<#03>[30000] (09/10 00:00:00.122):{0x520} [DIAG] EVENT=Thread_report,
 THREADID=0x1390, THREADNAME="SRPReceiverHandler"
```

記録するコンポーネントまたは機能に応じて、いくつかのバリエーションがありますが、すべてのログファイルは、次の基本情報を含む `.txt` ファイルとして保存されます。

項目	説明
日付またはタイムスタンプ	<日付><時刻><UTC との時差> 形式のタイムスタンプ。 Date/Time は特定のイベントの日時を示します。 メモ： 日付とタイムスタンプはローカルサーバー時間です。
ホスト名またはコンポーネント ID	コンポーネント ID またはホスト名は、ログファイルが対応するコンポーネントを示します。場合によっては、CORE または MDS-CS などのようにわかりやすいものもあれば、数値の ID を使用したわかりづらいものもあります。
アプリ名	アプリ名はすべてのログファイルで同じです。これは MDM として表示されます。
プロセス ID またはスレッド	現在メッセージを記録しているスレッドの Java スレッド ID を表します。例： `localhost-startStop-1`
メッセージ ID	メッセージ ID は、ログファイルに送信中のメッセージのタイプを示します。これは、記録中の機能およびコンポーネントの組み合わせで、<機能>|<コンポーネント> という形式が使用されます。例： `admin.application.management|appmgmt`
構築データ	構築データを示す 0 以上の名前値ペア。例： `[{{requestId,543ade23} {myContextInfo,runningContext}}]`

項目	説明
メッセージ	メッセージは、アクティビティを示し、イベントの性質を説明します。メッセージには、実行中のハードウェアまたはソフトウェア、または発生している問題に関する情報が含まれます。例： `INFO  Total 2 routes, of which 2 is started.`
レベル	イベントレベルは、ログエントリの種類を示します。一般に、イベントは次のカテゴリのいずれかに適合します。 • ERROR = エラー • WARN = 警告 • INFO = 情報 ENV = 環境 • DEBUG = デバッグ • その他 • DIAG = 診断 ログファイルによっては、レベルが、次の形式の数値で示されるものがあります。 • [10000] = エラー • [20000] = 警告 • [30000] = 情報 • [40000] = デバッグ • [50000] = その他

ログファイルレベル

レベル	説明
DEBUG	このレベルは、コードの問題のデバッグに役立つ情報を指定します。イベントには次を含めることができます。 • エラー状態が疑われるリソースの状態 • 内部コンポーネントと外部コンポーネント間の移行 • BlackBerry UEM Core への REST 要求 • Microsoft Active Directory への要求
エラー	このレベルは、管理者またはサポートスペシャリストが対処する必要のあるエラー状態を指定します。イベントには次を含めることができます。 • エンコーディングの例外 • データレベルの例外 • 回復可能なコードの例外

レベル	説明
情報	このレベルは、管理者またはサポートスペシャリストが確認したい場合がある通常のシステムイベントを指定します。 このレベルは、BlackBerry UEM のデフォルトのログレベルです。
警告	このレベルは、警告状態、必要となる場合がある操作、発生した可能性のある予期しないイベントを示します。イベントには次を含めることができます。 • 矛盾するデータ • 予期しない要求 • 許可エラー • 認証エラー

トラブルシューティングでのログファイルの使用

コンポーネント **ID**	ログを記録するコンポーネント	説明
ACCS	Apache Tomcat サーバーアクセスログファイル	Apache Tomcat ACCS ログファイルは、BlackBerry UEM Web サービスへのアクセス要求をすべて記録します。 BlackBerry UEM Web サービスへのアクセス要求が成功したか、失敗したかを確認する場合に、これらのログファイルを使用できます。
AFMGR	BlackBerry Affinity Manager	BlackBerry Affinity Manager には、機能に関する情報と、組織の環境内に複数の BlackBerry Affinity Manager がある場合のフェールオーバーの状態が含まれます。 また、次に関連する問題をトラブルシューティングすることもできます。 • BlackBerry UEM と BlackBerry Infrastructure の接続 • BlackBerry UEM と BlackBerry 10 デバイスの接続 • アクティブな BlackBerry Affinity Manager を変更した結果生じたヘルス問題
BCC	BlackBerry Cloud Connector	BlackBerry Cloud Connector コンポーネントに関するログデータ。これらのログファイルを使用して、BlackBerry Cloud Connector が BlackBerry Infrastructure に接続されていることを確認できます。

コンポーネント ID	ログを記録するコンポーネント	説明
BGS	BlackBerry Gatekeeping Service	次に関する問題をトラブルシューティングする場合に、これらのログファイルを使用できます。 • BlackBerry Gatekeeping Service を使用している環境でアクティブ化できないデバイス • BlackBerry Gatekeeping Service への接続 • BlackBerry UEM と BlackBerry Infrastructure の接続 • BlackBerry 10 アクティベーション、およびポリシーとプロファイルの送信 • iOS および Android の接続
BP	BlackBerry Proxy	BlackBerry Dynamics コンテナと Microsoft Exchange サーバーなどのエンドポイントとの接続トラフィックをログに記録します。
BSCP	BlackBerry Secure Connect Plus	BlackBerry Secure Connect Plus コンポーネントに関するログデータ。 これらのログファイルを使用して、BlackBerry Secure Connect Plus が BlackBerry Infrastructure に接続されていることを確認できます。例： 2015-01-19T13:17:47.540-0500 - BSCP {TcpClientConnectorNio#2} logging.feature.bscp.service| logging.component.bscp.pss.bcp [{}] - DEBUG Received Ping from [id: 0x60bce5a3, /192.0.2.0:28231 => bcp.example.com/192.0.2.124:3101], responding with Pong.2015-01-19T13:18:22.989-0500 - BSCP {ChannelPinger#1} logging.feature.bscp.service| logging.component.bscp.pss.bcp [{}] - DEBUG Sending Ping to [id: 0xb4a1677a, /192.0.2.0:28232 => bcp.example.com/192.0.2.124:3101]

コンポーネント ID	ログを記録するコンポーネント	説明
BSCP-TS	BlackBerry Secure Connect Plus コア	BlackBerry Secure Connect Plus クライアントとの接続に関するログデータ。 これらのログファイルを使用して、BlackBerry Secure Connect Plus がデバイス上の BlackBerry Secure Connect Plus クライアントからコールを受信する準備ができていることを確認できます。例： 47: [14:13:21.231312][][3][AsioTurnSocket-1] Connected, host=68-171-243-141.rdns.blackberry.net 48: [14:13:21.239312][][3][AsioTurnSocket-1] Creating TURN allocation 49: [14:13:21.405121][][3][AsioTurnSocket-1] TURN allocation created デバイスがセキュリティ保護されたトンネルを使用していることを確認するために使用します。例： 74: [10:39:45.746926][][3][Tunnel-2FFEC51E] Sent: 2130.6 KB (1733), Received: 201.9 KB (1370), Running: 00:07:00.139249
BSG	BlackBerry Secure Gateway	次に関する問題をトラブルシューティングする場合に、これらのログファイルを使用できます。 • メールを送受信できない iOS デバイス • BlackBerry UEM と BlackBerry Infrastructure の接続 • BlackBerry Infrastructure と Microsoft Exchange または Microsoft Office 365 メールサーバーの接続
CORE	BlackBerry UEM Core	次に関する問題をトラブルシューティングする場合に、これらのログファイルを使用できます。 • コアサービスまたはトランザクション • BlackBerry 2FA トランザクション • BES10 からのデータ移行
DISP	BlackBerry Dispatcher	次に関する問題をトラブルシューティングする場合に、これらのログファイルを使用できます。 • BlackBerry UEM と BlackBerry Infrastructure の接続 • BlackBerry UEM と BlackBerry 10 デバイスの接続
EVNT	BlackBerry UEM Core	これらのログファイルを使用して、BlackBerry UEM Core 内の特定のイベントに関する通知を確認できます。
MDAT	BlackBerry MDS Connection Service	次に関する問題をトラブルシューティングする場合に、これらのログファイルを使用できます。 • BlackBerry 10 デバイスアプリ • アプリプッシュ問題 • アプリプッシュ認証問題

コンポーネント ID	ログを記録するコンポーネント	説明
ROUT	BlackBerry Router	次に関する問題をトラブルシューティングする場合に、これらのログファイルを使用できます。 • BlackBerry Router のインストール • BlackBerry UEM と BlackBerry Router の接続 • BlackBerry UEM と BlackBerry Infrastructure の接続 • BlackBerry Router と BlackBerry Infrastructure の接続 • デバイスと BlackBerry UEM の接続 メモ： BlackBerry Router ログファイルは、組織の環境内に BlackBerry Router がインストールされている場合にのみ利用可能です。
TMCT	Apache Tomcat サーバーログファイル	Apache Tomcat TMCT ログファイルは、Apache Tomcat Web サービスのすべてのアクティビティを記録します。 管理コンソールに関する問題をトラブルシューティングする場合に、これらのログファイルを使用できます。
UI	管理コンソール	管理コンソールに関する問題をトラブルシューティングする場合に、これらのログファイルを使用できます。

BlackBerry 10 デバイスのアプリアクティビティの監査

オンプレミス環境で、デバイスログを使用して、アクティベーションタイプが「仕事用と個人用 - 会社 」、「仕事用と個人用 - 制限付き 」、および「仕事用領域のみ 」である BlackBerry 10 デバイスのアプリアクティビティを監査できます。

この機能は BlackBerry UEM Cloud ではサポートされていません。

次の IT ポリシールールを設定して、これらのログファイルを生成する必要があります。

BlackBerry 10 の IT ポリシールール	説明
BBM ログを同期する	このルールは、デバイスが BlackBerry Messenger からのログを BlackBerry UEM と同期するかどうかを指定します。
通話ログを同期する	このルールは、デバイスが電話アプリの通話ログを BlackBerry UEM と同期するかどうかを指定します。
PIN to PIN ログを同期する	このルールは、デバイスが PIN メッセージのログを BlackBerry UEM と同期するかどうかを指定します。
SMS/MMS ログを同期する	このルールは、デバイスが SMS テキストメッセージと MMS メッセージのログを BlackBerry UEM と同期するかどうかを指定します。

BlackBerry 10 の IT ポリシールール	説明
ビデオチャットログを同期する	このルールは、BlackBerry 10 デバイスが BBM Video 機能のログを BlackBerry UEM と同期するかどうかを指定します。

デフォルトでは、BlackBerry 10 デバイスのアプリ監査ログファイルは、*C:\Program Files\BlackBerry\UEM\Logs\<yyyymmdd>* に保存されます。

デバイスでの操作の表示

デバイスのロック、仕事用領域の無効化、デバイスデータの削除などの BlackBerry UEM 管理コンソールから送信したコマンドの結果として実行された、または実行中の操作を表示できます。

これらのコマンドを使用できるかどうかは、デバイスとアクティベーションタイプによって異なります。

デバイスコマンドのステータスは次のいずれかになります。

- コマンドはキャンセルされました
- コマンドはデバイスによって完了されました
- コマンドはデバイスに配信されました
- コマンド配信はデバイスによって確認されました
- コマンドは失敗しました
- コマンドは実行中です
- 通知はデバイスによって確認されました
- 通知はデバイスに送信されました
- キューに追加しました

デバイスでの操作を表示

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. 操作を表示するデバイスのタブをクリックします。
5. ［デバイスでの操作を表示］をクリックします。

デバイスログの取得

次の方法を使用して、デバイスからログファイルを取得できます。

方法	説明	サポートされるデバイス
BlackBerry UEM コマンドによるデバイスログの取得	オンプレミス環境では、［デバイスログを取得］コマンドを使用して、デバイスからログファイルを取得できます。デバイスのログファイルのスナップショットは、デバイスのコマンドを使用して取得するたびに収集されます。ユーザーには、デバイスのアクティベーション中に管理者がシステムログファイルを収集できることが通知されます。また、ユーザーには、デバイスの設定によっては、管理者がコマンドを使用してログファイルを取得する場合に再び通知されることがあります。このコマンドは、BlackBerry UEM Cloud では使用できません。 iOS および Android デバイスでは、BlackBerry UEM Client がインストールされている必要があります。また、取得されるログファイルは BlackBerry UEM Client ログのみです。 BlackBerry 10 デバイスでは、すべてのデバイスログが取得されます。	• iOS • Android • BlackBerry 10
BlackBerry UEM Client からのログファイルの送信	デバイスのユーザーは、BlackBerry UEM Client の［ヘルプ］メニューから管理者にログファイルをメールで送信できます。	• iOS • Android
BlackBerry 10 デバイスログファイルの BlackBerry Technical Support Services への送信	デバイスがログファイルを生成して送信できるかどうかを指定する［BlackBerry にログを送信する］IT ポリシールールを使用して、BlackBerry 10 デバイスのログファイルを BlackBerry Technical Support Services に送信することができます。	• BlackBerry 10
BlackBerry UEM アプリカタログからログファイルを送信	Windows 10 デバイスのユーザーは、BlackBerry UEM アプリカタログの［ヘルプ］メニューから管理者にログファイルをメールで送信できます。	• Windows 10

BlackBerry UEM コマンドによるデバイスログの取得

オンプレミス環境で、BlackBerry UEM コマンドを使用して、次のデバイスタイプからログファイルを取得できます。

- iOS
- Android
- BlackBerry 10

このコマンドは、BlackBerry UEM Cloud では使用できません。

作業を始める前に：

- BlackBerry 10 デバイスは、BlackBerry 10 OS バージョン 10.3.1 以降を実行している必要があります。［仕事用と個人用 - 会社 ］アクティベーションタイプでアクティベーションされたデバイスの場合、ユーザはリモートログ収集を有効にする必要があります。詳細については、support.blackberry.com/community にアクセスし、記事 36424 を参照してください。
- iOS および Android デバイスには、BlackBerry UEM Client をインストールする必要があります。
- デフォルトでは、ジュニアヘルプデスクロールでは、ログファイルを取得できません。

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. デバイスのタブをクリックします。
5. ［デバイスを管理］ウィンドウで［デバイスログを取得］をクリックします。
6. ［要求］をクリックします。

終了したら：

デバイスログファイルを取得します。デフォルトでは、ログファイルは C:\Program Files\BlackBerry\UEM\Logs\device_logs に保存されます。

BlackBerry 10 デバイスログファイルの BlackBerry Technical Support Services への送信

BlackBerry 10 デバイスがログファイルを BlackBerry Technical Support Services へ送信できるように設定できます。［**BlackBerry** にログを送信する］ IT ポリシールールを使用して、デバイスがログファイルを生成して送信できるかどうかを指定できます。

ユーザーは、BlackBerry Technical Support Services から発行されたチケットを保持しており、デバイスログファイルの送信時にチケット番号を提示する必要があります。ユーザーが有効なサポートチケット番号、正しいメールアドレス、またはサポートチケットに関連付けられた PIN 番号を入力しない場合には、デバイスログファイルの送信を試みるとエラーが表示されます。

BlackBerry UEM Client からのログファイルの送信

ユーザーは、次のデバイスのために BlackBerry UEM Client からログファイルを送信できます。

- iOS
- Android

1. デバイスで、［**UEM Client**］アイコンをタップします。
2. ［ヘルプ］をタップします。
3. ［ログを送信］または［バグレポート］をタップします。
4. ログファイルの送信先となるデバイスのメールアカウントを選択します。
5. ［送信］をタップします。

   iOS および Android のログファイルは、.zip ファイルとしてメールに添付されます。

BlackBerry UEM アプリカタログからログファイルを送信

Windows 10 デバイスでは、ユーザーは BlackBerry UEM アプリカタログからログファイルを送信できます。

1. デバイスで［アプリカタログ］アイコンをタップします。
2. ［ヘルプ］をタップします。

3. ［バグレポート］をタップします。
4. ログファイルの送信先となるデバイスのメールアカウントを選択します。
5. ［送信］をタップします。ログファイルは、.zip ファイルとしてメールに添付されます。

Android Enterprise および Samsung Knox Workspace デバイスの通話と SMS/MMS アクティビティのログ

Android Enterpriseおよび Samsung Knox Workspace デバイスの通話と SMS/MMS アクティビティを記録して確認できます。BlackBerry UEM は、アクティベーションタイプ［仕事用領域のみ （Premium）］、［仕事用と個人用 - フルコントロール （Premium）］、［仕事用と個人用 - フルコントロール （Samsung Knox）］、および［仕事用領域専用（Samsung Knox）］でアクティベーションされたデバイスを対象として、このアクティビティをログに記録します。

BlackBerry UEM は、電話通話と SMS/MMS の両方に対して、個別に .csv ログファイルを保存します。BlackBerry UEM は <サーバー名>_<コンポーネント *ID*>_<イベント定義のバージョン>_<*yyyymmdd*>_<ログ番号>.<ファイル拡張子>（例：BBServer01_phone_1.0_20160730_0001.csv）の形式で、ログファイルに名前を付けます。

オンプレミス環境でのデフォルトのログファイルの場所は、`<drive>:\Program Files\BlackBerry\UEM\Logs\<date or folder name>` です。BlackBerry UEM Cloud で BlackBerry Connectivity Node は、ログファイルを保存します。デフォルトの場所は、`<drive>:\Program Files\BlackBerry Connectivity Node\Logs\Device Logs` です。

ログファイルの検索と読み込みについては、「ログファイルの使用」を参照してください。

オンプレミス環境での通話と SMS/MMS アクティビティのログ記録

オンプレミス環境では、適切な IT ポリシールールを設定するだけで、SMS/MMS と電話アクティビティをログに記録することができます。

1. メニューバーで［ポリシーとプロファイル］をクリックします。
2. ［ポリシー］ > ［**IT** ポリシー］をクリックします。
3. ＋ をクリックします。
4. デバイスに割り当てられた IT ポリシーをクリックします。
5. ✎ をクリックします。
6. ［**Android**］ タブで、ログに記録するアクティビティの IT ポリシールールを選択します。
   - SMS/MMS ログを UEM に送信する
   - 電話のログを UEM に送信する
7. ［保存］をクリックします。

BlackBerry UEM Cloud の通話と SMS/MMS アクティビティのログ記録

作業を始める前に： BlackBerry UEM Cloud の SMS/MMS および電話アクティビティをログに記録するには、BlackBerry Connectivity Node をインストールする必要があります。

1. メニューバーで［設定］をクリックします。
2. ［外部統合］ > ［**BlackBerry Connectivity Node** のセットアップ］をクリックします。
3. をクリックします。

4. ［ロギング設定を上書きする］を選択します。
5. ［デバイスアプリケーション監査ログを有効にする］を選択します。
6. ［デバイスアプリ監査ログファイルの最大サイズ］を指定します。

   デバイス上のログファイルのサイズが指定サイズに達すると、デバイスはログファイルを BlackBerry Connectivity Node に送信します。
7. ［デバイスアプリ監査ログファイルの最長保存期間］を指定します。

   デバイス上のログファイルが指定保存期間に達すると、デバイスはログファイルを BlackBerry Connectivity Node に送信します。
8. ［保存］をクリックします。
9. メニューバーで［ポリシーとプロファイル］をクリックします。
10. ［ポリシー］ > ［**IT** ポリシー］をクリックします。
11. ＋ をクリックします。
12. デバイスに割り当てられた IT ポリシーをクリックします。
13. ✎ をクリックします。
14. ［**Android**］ タブで、ログに記録するアクティビティの IT ポリシールールを選択します。
    - SMS/MMS ログを BlackBerry Connectivity Node に送信します。
    - 電話ログを BlackBerry Connectivity Node に送信します。
15. ［保存］をクリックします。

トラブルシューティング：**SMS/MMS** ログファイル

ログファイルには送信 **SMS/MMS** メッセージは含まれません

原因

Android デバイス向けの組織の IT ポリシーでは、［RCS 機能を許可する］および［SMS/MMS ログを UEM に送信する］オプションが選択され、組織の通信事業者は［リッチコミュニケーションサービス（RCS）］をサポートしています。

解決策

組織の IT ポリシーで［RCS 機能を許可する］オプションの選択を解除し、影響を受けるデバイスを再起動するか、デバイスで SMS メッセージアプリを停止して起動します。

BlackBerry UEM でのイベントの監査

BlackBerry UEM がオンプレミス環境にインストールされている場合は、BlackBerry UEM は管理者およびセキュリティ監査イベントをログファイルに保持し、あらゆる管理者操作や BlackBerry UEM とデバイス間のやり取りの調査に使用できます。

BlackBerry UEM は、管理者が管理コンソールで実行するすべてのアクションを記録し、［監査］画面に表示します。操作のリストをフィルターして、調査に関連するアクションのみを表示できます。さらに分析し、レポートする目的で、フィルターされたリストを .csv ファイルにエクスポートできます。

［監査設定］画面から、セキュリティ監査イベントを .csv ファイルにエクスポートできます。セキュリティ監査イベントには、コマンドまたはポリシーの配信、BlackBerry UEM インスタンスの開始または停止、信頼できるチャネルの開始または終了、証明書の確認ステータス、および監査設定の変更などのサーバーアクションが含まれます。［監査設定］画面から、ログファイルに記録するセキュリティイベントの種類を選択できます。一部のイベントでは、イベントを正常に完了したか、完了していないかに基づいて、イベントをログに記録することができます。

BlackBerry UEM Cloud では、管理者およびセキュリティ監査イベントの表示およびエクスポートはサポートされていません。

監査の設定

BlackBerry UEM で管理者またはセキュリティイベントの監査を有効または無効にすることができます。監査が有効な場合は、レコードを保持する期間、表示する結果数、および古いレコードを削除するタイミングを選択できます。監査が無効な場合は、すべてのレコードが削除されます。

この機能は、BlackBerry UEM Cloud ではサポートされていません。

メモ：セキュリティイベント監査を有効にするには、多くのデータベースリソースが必要です。パフォーマンス計算ツールをダウンロードして、必要なリソースを見積もることができます。

1. メニューバーで、［設定］ > ［インフラストラクチャ］ > ［監査設定］をクリックします。
2. 右ペインで、 をクリックします。
3. ［管理者イベント監査設定］セクションで、次のいずれかの操作を行います。

タスク	手順
管理者イベントの監査を有効にする	**a.** ［管理者イベントの監査］フィールドで、［有効］をクリックします。 **b.** ［管理者監査レコードの保持］フィールドで、レコードを保持する最大日数を入力します。 **c.** ［最大レコード数］フィールドで、UI に表示する最大レコード数を入力します。レコード数がこの値を超える場合は、管理者が日付範囲を短くするか、またはカテゴリを選択して、レコード数を減らす必要があります。 **d.** ［日次削除時刻（**UTC**）］フィールドで、レコードを削除する時刻を選択します。

タスク	手順
管理者イベント監査を無効にし、すべてのレコードを消去する	**a.** ［管理者イベントの監査］フィールドで、［無効］をクリックします。

4. ［セキュリティイベント監査設定］セクションで、次のいずれかの操作を行います。

タスク	手順
セキュリティイベント監査を有効にする	**a.** ［セキュリティイベントの監査］フィールドで、［有効］をクリックします。 **b.** ［セキュリティ監査レコードの保持］フィールドで、レコードを保持する最大日数を入力します。 **c.** ［日次削除時刻（**UTC**）］フィールドで、古いレコードを削除する時刻を選択します。 **d.** セキュリティイベントの監査を停止するには、イベントタイプの横にある ✕ をクリックします。 **e.** 監査するセキュリティイベントを追加するには、＋ をクリックします。イベントを選択し、［追加］をクリックします。 **f.** 必要に応じて、イベントタイプの横にある［設定］カラムでドロップダウンリストが利用できる場合は、イベントを記録する条件を選択します。
セキュリティイベント監査を無効にし、すべてのレコードを消去する	**a.** ［セキュリティイベントの監査］フィールドで、［無効］をクリックします。

5. ［保存］をクリックします。

終了したら：

- BlackBerry UEM インスタンスをホストする各コンピューターで、BlackBerry UEM Core サービスを再起動します。
- 管理コンソールにもう一度ログインします。

管理者監査イベントの表示とフィルター

次のタスクは、管理者イベントの監査ログを表示およびフィルターすることのみを目的とします。セキュリティ監査イベントログを表示するには、「セキュリティ監査イベントの .csv ファイルへのエクスポート」を参照してください。この機能は BlackBerry UEM Cloud ではサポートされていません。

1. メニューバーで、［監査とロギング］ > ［システム監査］をクリックします。

2. ［編集］をクリックします。

3. カテゴリと日付の範囲を選択します。［送信］をクリックします。

4. ［フィルター］の下で、カテゴリをクリックして展開します。注：［ロール］カテゴリで、ユーザーがデバイスから仕事用アプリにアクセスしている場合、「Work Apps」という名前のロールが表示されます。

「Work Apps」アプリは既存のロールではありません。このロールは、ユーザーの仕事用アプリにアクセスするための最小限の権限セットを追加するために動的に割り当てられます。

5. 適用するフィルターを選択して、［送信］をクリックします。
6. 必要に応じて、右ペインで ⋮ をクリックします。表示する列を選択します。
7. 必要に応じて、次のいずれかを実行します。
   - フィルターを削除するには、削除するフィルターの横にある ✕ をクリックします。
   - すべてのフィルターを削除するには、［すべて削除］をクリックします。

終了したら： 必要に応じて、管理者監査イベントの .csv ファイルへのエクスポート。

管理者監査イベントの .csv ファイルへのエクスポート

管理者監査イベントを .csv ファイルにエクスポートすると、.csv ファイルにはフィルターしたデータが含まれます。この機能は BlackBerry UEM Cloud ではサポートされていません。

1. メニューバーで、［監査とロギング］ > ［システム監査］をクリックします。
2. 必要に応じて、左ペインで、監査ログをフィルターし、.csv ファイルに含めるデータのみを表示します。
3. ➡ をクリックして、ファイルを保存します。

セキュリティ監査イベントの .csv ファイルへのエクスポート

セキュリティ監査イベントを .csv ファイルにエクスポートすると、ログ記録されたすべてのセキュリティイベントが .csv ファイルに含まれます。この機能は BlackBerry UEM Cloud ではサポートされていません。

1. メニューバーで、［設定］ > ［インフラストラクチャ］ > ［監査設定］をクリックします。
2. ［セキュリティイベント監査設定］セクションで［エクスポート］をクリックし、ファイルを保存します。

監査レコードの削除

次回の日次削除時刻の前に監査レコードを削除することができます。この機能は BlackBerry UEM Cloud ではサポートされていません。

1. メニューバーで、［設定］ > ［インフラストラクチャ］ > ［監査設定］をクリックします。
2. ［管理者イベント監査設定］または［セキュリティイベント監査設定］セクションで、［削除］をクリックします。
3. ［削除］をクリックします。

SNMP ツールを使用した BlackBerry UEM の監視

BlackBerry UEM がオンプレミス環境にインストールされている場合は、サードパーティ SNMP ツールを使用して、いくつかの BlackBerry UEM コンポーネントのアクティビティを監視できます。SNMP 監視には、SNMP サービスと SNMP 管理ツールが必要です。BlackBerry UEM をホストするコンピューターで、SNMP サービスを実行します。Windows Services に配置された SNMP サービスには、BlackBerry UEM コンポーネントからデータを収集する SNMP エージェントが含まれます。

また、SNMP 管理ツール（MIB ブラウザーなど）を使用して、エージェントから受信したデータの表示と分析を実行します。通常、管理ツールには、エージェントからのトラップメッセージの取得と解釈に使用される SNMP トラップ管理ツールが含まれます。管理ツールは、BlackBerry UEM をホストするコンピューターまたは別のコンピューターにインストールできます。

SNMP を設定する場所は、2 か所あります。

- BlackBerry UEM Core、BlackBerry Secure Connect Plus、BlackBerry Secure Gateway、および BlackBerry Cloud Connector を監視するには、管理コンソールの SNMP を設定します。「SNMP を設定してコンポーネントを監視する」を参照してください。
- BlackBerry UEM エンタープライズ接続コンポーネントを監視するには、SNMP サービスを設定します。

デフォルトでは、管理ツールは条件の OID を表示します。これは、クラス階層内のクラス値を識別する一連の整数です。BlackBerry UEM の SNMP OID および SNMP トラップはすべて、クラス値が 1.3.6.1.4.1.3530.8 で始まります。サフィックス（たとえば、25.1.1）は、各 OID 値を一意に識別します。

MIB は、SNMP エージェントが監視する条件を指定します。MIB は、BlackBerry UEM コンポーネントの変数と管理データを定義および説明するデータベースで、各 SNMP トラップ値の意味を含みます。MIB は、コンポーネントについて SNMP サービスが収集できるデータの種類を決定します。SNMP モニタリングを設定するとき、管理者は管理ツールを使用して MIB をコンパイルします。

SNMP のネットワークセキュリティの詳細については、support.microsoft.com を参照してください。

SNMP ツールを使用した BlackBerry UEM の監視は、BlackBerry UEM Cloud ではサポートされません。

サポートされる SNMP 操作

BlackBerry UEM がインストールされたコンピューター上で実行されている SNMP エージェントから、SNMP 操作を使用してデータを収集できます。BlackBerry UEM は次の SNMP 操作をサポートしています。

操作	説明
ゲット	特定の MIB 項目の値を取得します。
次をゲット	MIB ファイル内の順序で項目の値および OID を取得します。
トラップ	SNMP エージェントからの SNMP トラップメッセージを SNMP トラップ管理ツールに送信します。SNMP トラップメッセージには、BlackBerry UEM コンポーネントが実行する特定の操作に関するデータが含まれています。

システム要件：SNMP 監視

項目	要件
サポートされる BlackBerry UEM コンポーネント	次の BlackBerry UEM コンポーネントに、SNMP 監視を設定できます。 • BlackBerry Affinity Manager • BlackBerry Cloud Connector • BlackBerry Dispatcher • BlackBerry MDS Connection Service • BlackBerry Router • BlackBerry Secure Connect Plus • BlackBerry Secure Gateway • BlackBerry UEM Core 他の BlackBerry UEM コンポーネントは、SNMP モニタリングをサポートしません。
SNMP 管理ツール	管理ツールに MIB コンパイラが含まれない場合、管理ツールをホストするコンピューターに MIB コンパイラをインストールします。 SNMP サービスでサーバーアクティビティのレポートにトラップメッセージを送信する場合は、管理ツールに SNMP トラップ管理ツールが含まれていることを確認します。代わりに、BlackBerry UEM をホストするコンピューターまたは別のコンピューター上にスタンドアロンの SNMP トラップ管理ツールをインストールできます。
ネットワークアクセス	SNMP 管理ツールをホストするコンピューターまたはスタンドアロンの SNMP トラップ管理ツールは、BlackBerry UEM がインストールされたコンピューターにアクセスしてデータを受信できることが必要です。
SNMP サービス	BlackBerry UEM がインストールされているコンピューターでは、SNMP エージェントと SNMP サービスを含む SNMP サービスをインストールします。 SNMP サービスは、Windows のほとんどのバージョンで利用可能です。詳細については、support.microsoft.com にアクセスしてください。
SNMP サービス設定	BlackBerry UEM がインストールされているコンピューターの Windows Services で、次の SNMP サービス設定を実行します。 • 有効な SNMP コミュニティ名 • SNMP コミュニティの最低限の読み取り専用権限 • SNMP サービスが SNMP データを受け付けることができるコンピューター名の IP アドレス

BlackBerry UEM の MIB

デフォルトでは、BlackBerry UEM の MIB は、BlackBerry UEM がインストールされたコンピューターの *<drive>*\Program Files\BlackBerry\UEM\Monitoring\bin\mib にあります。

BlackBerry UEM には次の MIB が含まれている場合があり、BlackBerry UEM コンポーネントのデータ分析に使用できます。

MIB ファイル	説明
BES-BCCMIB-SMIV2	BlackBerry Cloud Connector の SNMP インターフェイスの OID ツリールートの定義が含まれます。
BES-BCCMonitoringMIB-SMIV2	SNMP 管理ツールを使用してアクセスおよび取得可能な管理対象 BlackBerry Cloud Connector オブジェクトの定義が含まれます。
BES-BSCPMIB-SMIV2	BlackBerry Secure Connect Plus の SNMP インターフェイスの OID ツリールートの定義が含まれます。
BES-BSCPMonitoringMIB-SMIV2	SNMP 管理ツールを使用してアクセスおよび取得可能な管理対象 BlackBerry Secure Connect Plus オブジェクトの定義が含まれます。
BES-BSGMIB-SMIV2	BlackBerry Secure Gateway の SNMP インターフェイスの OID ツリールートの定義が含まれます。
BES-BSGMonitoringMIB-SMIV2	SNMP 管理ツールを使用してアクセスおよび取得可能な管理対象 BlackBerry Secure Gateway オブジェクトの定義が含まれます。
BES-CoreEventingMIB-SMIV2	BlackBerry UEM Core が発行するトラップと通知の定義が含まれます。
BES-CoreMIB-SMIV2	BlackBerry UEM Core の SNMP インターフェイスの OID ツリールートの定義が含まれます。
BES-CoreMonitoringMIB-SMIV2	SNMP 管理ツールを使用してアクセスおよび取得可能な管理対象オブジェクトの定義が含まれます。
BES-EC-MIB-SMIV2	次の BlackBerry UEM のエンタープライズ接続コンポーネントが発行する管理対象オブジェクト、トラップ、および通知の定義が含まれます。 • BlackBerry Affinity Manager • BlackBerry Dispatcher • BlackBerry MDS Connection Service • BlackBerry Router

MIB をコンパイルして SNMP 管理ツールを設定する

組織の SNMP 監視ソフトウェアを有効化して BlackBerry UEM コンポーネントを監視するには、SNMP 管理ツールを使用して BlackBerry UEM の MIB ファイルをコンパイルする必要があります。ツールに MIB コンパイラが含まれない場合、ツールをホストするコンピューターに MIB コンパイラをインストールします。

作業を始める前に： SNMP 管理ツールに関するドキュメントを読み、MIB をコンパイルするツールを使用する方法を確認します。

1. BlackBerry UEM をホストするコンピューターで、*<drive>*\Program Files\BlackBerry\UEM\Monitoring\bin\mib を参照します。
2. SNMP 管理ツール（または個別にインストールした MIB コンパイラ）を使用して .mib ファイルをコンパイルします。

SNMP を使用したコンポーネントの監視

SNMP を使用して次のコンポーネントを監視するには、BlackBerry UEM 管理コンソールを設定する必要があります。

- BlackBerry UEM Core
- BlackBerry Secure Connect Plus
- BlackBerry Secure Gateway

BlackBerry UEM Core は、デバイス管理を担当する複数のサブコンポーネントで構成されています。BlackBerry Secure Connect Plus は、BlackBerry 10 の仕事用領域アプリ、Knox Workspace、および Android Enterprise デバイスと、組織のネットワークとの間にセキュリティ保護された IP トンネルを提供します。BlackBerry Secure Gateway は、BlackBerry Infrastructure を介して組織のメールサーバーに iOS デバイスを安全に接続できるようにします。

パフォーマンスとアクティビティを監視する主要な SNMP カウンターの詳細については、HTML 関連の資料を参照してください。

SNMP を設定してコンポーネントを監視する

SNMP を使用して

BlackBerry UEM Core、BlackBerry Secure Connect Plus、BlackBerry Secure Gateway、または BlackBerry Cloud Connector を監視するには、管理コンソールの設定を実行する必要があります。

1. メニューバーで、［設定］ > ［インフラストラクチャ］ > ［**SNMP**］をクリックします。
2. ［グローバル設定］を展開し、［**SNMP** の監視を有効化］チェックボックスをオンにします。
3. ［コミュニティ］フィールドに新しいコミュニティ名を入力してデフォルト値を置き換えます。
4. ［IP アドレス］フィールドで、トラップ管理ツールがインストールされているサーバーの IPv4 UDP アドレスを入力します。
5. ［ポート］フィールドに、トラップ管理ツールのポート番号を入力します。デフォルトでは、このポート番号は 1620 です。
6. ［保存］をクリックします。
7. 各 BlackBerry UEM インスタンス名を展開します。必要に応じて BlackBerry UEM で SNMP データ要求を待ち受けるために使用するポート番号を変更することができます。次のポート番号はデフォルトで割り当てられています。
   - BlackBerry UEM Core ：1610
   - BlackBerry Secure Connect Plus ：1611
   - BlackBerry Secure Gateway ：1612

- BlackBerry Cloud Connector ：1613

  メモ： BlackBerry Cloud Connector のポート番号を変更するには、BlackBerry UEM データベースで、`com.rim.platform.dm.ic.ed.snmp.monitoring.udpport` の値を編集する必要があります。

特定の BCN コンポーネントにポートを設定することはできません。ただし、Windows SNMP サービスがインストールおよび設定され、［**SNMP** 監視を有効化］が選択されている場合、これらのサービスは再起動後に割り当てられたデフォルトポートの待機を開始します。

8. ［保存］をクリックします。

終了したら： 次のタスクのいずれかを実行します。

- BlackBerry UEM Core の監視を有効にする場合は、Windows Services で **BlackBerry UEM - UEM Core** サービスを再起動します。
- BlackBerry Secure Connect Plus の監視を有効にする場合は、Windows Services で **BlackBerry UEM - BlackBerry Secure Connect Plus** サービスを再起動します。
- BlackBerry Secure Gateway の監視を有効にする場合は、Windows Services で **BlackBerry UEM - BlackBerry Secure Gateway** サービスを再起動します。
- BlackBerry Cloud Connector の監視を有効にする場合は、Windows Services で **BlackBerry UEM - BlackBerry Cloud Connector** サービスを再起動します。

商標などに関する情報

©2020 BlackBerry Limited. BLACKBERRY、BBM、BES、EMBLEM Design、ATHOC、CYLANCE、SECUSMART などの商標（ただし、これらに限定されるとは限らない）は BlackBerry Limited、その子会社および関連会社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づいて使用され、当該の商標に対する独占権は明確に留保されています。その他すべての商標は各社の所有物です。

本書は、参照用として本書で取り上げるすべての文書（提供される文書または BlackBerry の Web サイトで参照可能な文書）を含めて「現状のまま」または「参照可能な形で」提供されるか、またはアクセスすることができ、BlackBerry Limited およびその関連会社（「BlackBerry」）はいかなる条件付け、承認、表明、または保証もしないものとし、BlackBerry は本書の誤記、技術的な誤りまたはその他の誤り、エラー、遺漏について何ら責任を負いません。BlackBerry の所有権、機密情報および/または企業秘密を保護するため、本書では一部の BlackBerry テクノロジの側面を一般化された用語で記述している場合があります。BlackBerry は、本書に含まれる情報を定期的に変更する権利を留保します。ただし、BlackBerry には、本書への変更、更新、拡張、または他の追加を適時ユーザーに提供する義務はないものとします。

本書は、第三者をソースとする情報、ハードウェアまたはソフトウェア、製品またはサービス（コンポーネントや、著作権保護されたコンテンツなど）、および/または第三者の Web サイト（これらをまとめて「サードパーティ製品およびサービス」という）への参照を含んでいる可能性があります。BlackBerry は、サードパーティ製品およびサービスの内容、正確性、著作権遵守、互換性、性能、信頼性、適法性、品格、リンク、他の側面などに限定することなく、サードパーティ製品およびサービスを一切管理することはなく、責任も負いません。本書においてサードパーティ製品およびサービスを参照することは、BlackBerry がサードパーティ製品およびサービスまたは第三者を保証することを意味するものではありません。

該当する司法管轄地域の適用法で明確に禁じられている場合を除き、本書で参照されているソフトウェア、ハードウェア、サービス、またはサードパーティ製品およびサービスについて、耐久性、特定の目的または使用に対する適合、商品性、適性品質、権利侵害の不存在、品質満足度、権原、または制定法、慣習法、取引過程、商慣習から生じる、本書またはその使用に関する、または性能または性能の不履行に関する条件付け、承認、表明、保証などに限定することなく、明示的または黙示的に、いかなる条件付け、承認、表明、または保証も除外されます。ユーザーは、国や地域によって異なる他の権利を有する場合もあります。一部の司法管轄地域では、黙示的な保証および条件の除外事項または限定事項は禁止されています。法律で認められている範囲で、本書に関連する黙示的な保証または条件は、上記に定めるように除外できないが限定できる場合、ユーザーが本書または該当する対象物を初めて入手してから 90 日間に限定されます。

該当する司法管轄地域の適用法で認められている最大限の範囲で、本書またはその使用に関連して、または本書で参照されているソフトウェア、ハードウェア、サービス、またはサードパーティ製品およびサービスの性能または性能の不履行に関連して、直接的、必然的、典型的、偶発的、間接的、特殊的、懲罰的、または加重的損害、金銭的損失による損害（利益または収益の損失、予想される貯蓄の未達成、事業の中断、ビジネス情報の消失、ビジネス機会の喪失、データの破損または消失、データの送受信の失敗、BlackBerry 製品またはサービスと併用したアプリケーションに関連する問題、ダウンタイムコスト、BlackBerry 製品またはサービスあるいはその一部の使用機会や通信サービスの使用機会の喪失、代替品コスト、保険料、設備費、保守費、資本コストなど）に限定することなく、損害を予想できたかどうかを問わず、BlackBerry が損害の可能性について勧告を受けていた場合を含め、いかなる場合においても、BlackBerry はいかなる損害の責任も負わないものとします。

該当する司法管轄地域の適用法で認められている最大限の範囲で、契約、不法行為、またはユーザーに対する過失責任または厳格責任について、BlackBerry は他のいかなる義務、責務、または責任も負わないものとします。

本書の限定事項、除外事項、および免責事項は、（A）訴訟原因、請求、またはユーザーによる行為（契約違反、過失、不法行為、厳格責任、その他の法理論など）の性質に関係なく、この契約の基本目的または本書に記載されている救済策の根本的違反または不履行を免れるため、（B）BlackBerry およびその関連会社、その後継

者、譲受人、代理業者、納入業者（通信事業者を含む）、認可された BlackBerry 販売業者（通信事業者を含む）およびその取締役、従業員、および請負業者に適用されます。

上記に定める限定事項および除外事項に加えて、いかなる場合においても、BlackBerry の取締役、従業員、代理業者、販売業者、納入業者、請負業者または BlackBerry の関連会社は、本書に起因または関連する責任を負わないものとします。

ユーザーは、サードパーティ製品およびサービスの加入、インストール、または使用前に、通信事業者がサードパーティ製品およびサービスのすべての機能をサポートすることに同意していることを確認する責任を負います。一部の通信事業者は、BlackBerry® Internet Service への加入によるインターネット閲覧機能を提供しない場合があります。サービスの利用、ローミング、サービスプラン、その他の機能については、通信事業者に問い合わせてください。BlackBerry 製品およびサービスにおけるサードパーティ製品およびサービスのインストールまたは使用には、第三者の権利を侵害または妨害しないように、特許、商標、著作権、または他のライセンスが必要になる場合があります。ユーザーは、サードパーティ製品およびサービスを使用するかどうかを決定し、使用するためにサードパーティライセンスが必要かどうかを確認する責任を負います。必要な場合、ユーザーはライセンスを取得する責任を負います。ユーザーは、必要なライセンスをすべて取得するまで、サードパーティ製品およびサービスをインストールまたは使用してはなりません。BlackBerry 製品およびサービスで提供されるサードパーティ製品およびサービスは、ユーザーの便宜のために「現状のまま」提供され、BlackBerry は明示的にも黙示的にもいかなる条件付け、承認、表明、または保証もしないものとし、BlackBerry はそれに関連するいかなる責任も負わないものとします。ユーザーによるサードパーティ製品およびサービスの使用は、ライセンスまたは BlackBerry との他の契約で明示的に対象になっている場合を除き、個別のライセンスおよび第三者との他の該当契約の条件に従うものとし、その制約を受けるものとします。

BlackBerry 製品またはサービスの使用条件は、個別のライセンスまたは BlackBerry との他の該当契約に定められています。本書の内容は、本書以外に BlackBerry 製品またはサービスの一部に対して BlackBerry が提供した文書による明示的な契約または保証を破棄するものではありません。

BlackBerry Enterprise Software には、特定のサードパーティ製ソフトウェアが組み込まれています。このソフトウェアに関連するライセンスおよび著作権情報は、http://worldwide.blackberry.com/legal/thirdpartysoftware.jsp でご確認いただけます。

BlackBerry Limited
2200 University Avenue East
Waterloo, Ontario
Canada N2K 0A7

BlackBerry UK Limited
Ground Floor, The Pearce Building, West Street,
Maidenhead, Berkshire SL6 1RL
United Kingdom

Published in Canada